

# 第1学年 道徳

## 第1学年の学習到達目標

- (1) 生活に必要な基本的な生活習慣を身につけようとする態度を養う。
- (2) 身近にいる人々に温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。
- (3) 人々に温かい心で接し、親切にしようとする心、生命を大切にしようとする心情を育てる。
- (4) みんなで使うものを大切に、集団生活に必要な約束やきまりを守ろうとする態度を養う。

## 第1学年の主な学習内容

学期	主題名	学習のねらい	資料名
前期	みんなの学校	学校の人々に親しみを持ち、学校生活を楽しもうとする心情を育てる。	1ねんせいになったよ
	時間のきまり	決められた時刻を守ることの大切さを知り、時刻を守ろうとする態度を養う。	べんきょうがはじまりますよ
	気持ちよく使うために	みんなで使うものを大切に、人に迷惑をかけないようにしようとする態度を養う。	うさぎのえんそく
	お世話になっている人	日ごろお世話になっている人々に感謝する心情を育てる。	がっこうたんけん
	元気な声で	日常生活におけるあいさつの大切なことを知り、これを身につけようとする態度を養う。	あいさつ
	危険から身を守る	危険な場所や遊びについて理解し、危険から身を守ろうとする態度を養う。	あぶない あぶない
	植物を育てる	自然に親しみ、動物や植物やさしい心で世話しようとする心情を育てる。	ぼくのあさがお
	きまりをまもって	交通ルールがある意味を考えることを通して、ルールを守るとは、安全や安心につながることを理解し、実践していこうとする心情を育む。	ちかみち
	やさしい気持ちで	やさしい心で動植物をかわいがり、生き物を大切にしようとする態度を養う	ぼくのしろくま
	友だちっていいな	友だちと進んでかかわり、仲よくしようとする心情を育てる。	こころはっぱ
	がんばる心	自分の目標に向かって、一生懸命努力しようとする意欲を育てる。	うかんだうかんだ
	温かい心で	友達や幼い人などに温かい心を持ち、親切にしようとする心情を育てる。	よかったね、さっちゃん
	わがままな行い	周りの人のことを考え、わがまますらないで生活しようとする態度を養う	かぼちゃのつる
	大切に使う	自分の身の回りのものを大切に扱おうとする態度を養う。	おれたクレヨン
	親切な心で	身近な人たちに温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。	はしのうえのおおかみ
	勇気を出して	正しいと思ったことは、恐れなくて、勇気を持って行おうとする態度を養う。	いけないよ
はたらくって楽しい	働くことで役に立つ喜びややりがいを感じて、みんなのために働こうとする心情を育てる。	せいとんがかり	
後期	思いやりの心	身近な人たちに温かい心で接し、相手のことを考えて親切にしようとする心情を育てる。	ぼくのはなさいたけど
	ぼくの町	自分の住んでいる町に親しみ、愛着を持つ気持ちを育てる。	にちようびのさんぼみち
	いつも正直に	うそをついたりごまかしをしたりしないで、明るい心で生活しようとする態度を養う。	どんぐり
	すがすがしい心	美しいものや清らかなものに感動する心情を育てる。	みずたまり

後期	ありがとうの気持ちを持って	日ごろお世話になっている人々に感謝する心情を育てる。	でんしゃのトーリー
	生きていることのすばらしさ	生きていることを喜び、生命を大切にしようとする心情を育てる。	どきどきどっきんぐ
	命の温かさ	友だちや幼い人などに温かい心を持ち、親切にしようとする心情を育てる。	ハムスターのあかちゃん
	何でもねばり強く	自分で行わなければならないことは、最後までねばり強く行おうとする心情を育てる。	こぐまのらっぱ
	正直で素直な心	ほんとうのことを大切にし、素直な明るい心で伸び伸びと生活しようとする態度を養う。	あのね
	きまりを守って使う	みんなで使うものを大切に扱おうとする態度を養う。	みんなのボール
	友だちを思う心	友だちと仲よく助け合っていこうとする心情を育てる。	二わのことり
	たった一つの命	かけがえのない生命の尊さに気づき、大切にしようとする心情を育てる。	いのちがあってよかった
	家族の人の願い	父母など家族のやさしい心づかいや努力に対して感謝し、親愛の心を持つようとする心情を育てる。	かやねずみのおかあさん
	星への願い	美しいものや清らかなものに感動する心情を育てる。	ほしのふるもり
	よいこと、悪いことを区別して	よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行おうとする態度を育てる。	それって、おかしいよ
	礼儀の心	気持ちのよいあいさつや言葉づかい、動作の大切さを理解し、礼儀正しく相手に接しようとする態度を養う。	こころをこめて
	楽しい学級	友だちといっしょに自分たちの学級を大切に作る心情を育てる。	もうすぐ二ねんせい

### 評価の観点・方法

- (1) 各教科のような数値などによる評価は行いません。道徳教育における評価は、教師が子どもの人間的成長を見守り、よりよく生きようとする努力を評価し、勇気づける働きを持つものです。また、子どもが自分の成長の芽を見つけて自己肯定感を持ち、夢や希望をもって、未来を切り拓いていくための自己評価ができるように工夫をします。
- (2) 日常生活の観察や、授業中の発言、作文などから子どもの心の動きの変容を様々な方法でとらえ、道徳性の共感的理解に努め、その結果を指導に生かすようにします。

### 特色ある学習方法

- (1) 1年生は、日々の生活の中から身近な問題を取り上げながら、基本的な習慣を身につけていくことを道徳の重点的な課題としています。
- (2) 1年生の子どもに分かりやすい心に響く感動的な読み物資料を使い、道徳的な心情を育てていきます。
- (3) 授業の中では葛藤させる場面を重視し、主体的に価値の判断をさせ、道徳的判断力を育てていきます。
- (4) 他教科と関連付けて計画を立て、効果的に授業を進めていきます。

### 使用教材等

- 道徳副読本として、「道徳1 みんななかよく」を使用します。どの子にも親しみやすく、主体的に学習でき、道徳的実践力を育てることができるよう配慮してあります。
- 「心に響く道徳学習教材集」、視聴覚教材、テレビ放送、子どもの作文などを主題や実態に応じて活用していきます。

### 留意事項

道徳教育の指導にあたっては、教師と子どもの信頼関係及び子ども相互の人間関係を深める中で道徳的実践を図っています。また、子どもは学校、家庭、地域社会それぞれの場での生活を通して道徳性を伸ばしていくので、三者の連携がとても大切になってきます。